

特集・逝ける映画人を偲んで (1978~79)

映画史を多彩にいろどる数々の秀作の創造に大きく貢献された映画人で、この1年間(1978~79)に惜しまれつつ逝去された内外の映画監督、製作者、撮影監督、映画音楽作曲家ならびに俳優の方々の中から20人を偲んで、それぞれの代表的作品により生前の業績を回顧することとし、ここに「特集・逝ける映画人を偲んで」を例年通り上映いたします。ひろく映画研究者、愛好者の方々の御鑑賞をおすすめいたします。

1979年7月 フィルムセンター

○日曜・祝日は休館、毎日午後3時、6時15分開映。先着順にて定員239名に達し次第入場を締め切ります(開館は12時30分)

★印の7月21日、28日の両日は午後1時・5時開映

一般200円・学生140円・小人100円

期 日	題 名	製作国・年	監 督	出 演 者
7月13日(金)	裸の島 (98分)	近代映協・1960年	新藤兼人	黒田清巳(撮影)、乙羽信子、殿山泰司
14日(土)	うたかたの恋 (83分)	フランス・1937年	アナトール・リトヴァク	シャルル・ボワイエ、ダニエル・ダリユ、ジャン・ダックス
16日(月)	風景の中の人物(日本語スーパーなし・109分)	アメリカ・1970年	ジョーゼフ・ローゼー	ロバート・ショー、マルコム・マクダウェル
17日(火)	天使の家	アルゼンチン・1957年	レオポルド・トレニルソン	エルザ・ダニエル、ラウタロ・ムルーア、ギエルモ・パツタリア
18日(水)	狂った果実 (86分)	日 活・1956年	中平康	石原裕次郎、北原三枝、津川雅彦
19日(木)	黒い太陽 (1936年、撮影・演出=三木茂)	上海 (1938年、撮影=三木茂)		演出=亀井文夫)
20日(金)	明治天皇と日露大戦争 (113分)	新 東 宝・1957年	渡辺邦男	大蔵貢(製作)、嵐寛寿郎、高倉みゆき、林寛、高島忠夫
21日(土)	★白い巨塔 (150分)	大 映・1966年	山本薩夫	田宮二郎、東野英治郎、滝沢修、田村高広
23日(月)	スパイ	フランス・1957年	H.G.クルーゾー	O.E.ハッセ、ヴェラ・クルーゾー、クルト・ユルゲンズ、P.ユスチノフ
24日(火)	ジプシイ男爵 (90分)	ドイツ・1935年	カール・ハートル	アドルフ・ヴォーブリュック、ハンジーク・クノテック
25日(水)	商船テナシチー (74分)	フランス・1934年	J.デュヴィヴィエ	ニコラ・エーエ(撮影)、マリイ・グロリー、アルベール・ブレッジャン
26日(木)	君たちはどう生きるか (1960年、脚本・演出=岩佐氏寿)	脚本・演出=岩佐氏寿)	森林一(北海道)	国有林一 (1963年、脚本・演出=岩佐氏寿)
27日(金)	婚約三羽鳥 (65分)	松 竹・1937年	島津保次郎	佐野周二、佐分利信、上原謙、高峰三枝子、三宅邦子
28日(土)	★青い山脈 (181分)	東 宝・1949年	今井正	藤本真澄(製作)、原節子、池部良、杉葉子、竜崎一郎
30日(月)	悪魔のような女 (115分)	フランス・1954年	H.G.クルーゾー	ポール・ムーリス、シモヌ・シニョレ、ヴェラ・クルーゾー
31日(火)	どん底 (85分)	フランス・1935年	ジャン・ルノワール	ジャン・ギャバン、ルイ・ジュエヴェ、シュジュー・プリム
8月1日(水)	静かなる決闘 (97分)	大 映・1949年	黒沢明	植村謙二郎、三船敏郎、三条美紀、志村喬
2日(木)	道 (105分)	イタリア・1954年	フェデリコ・フェリーニ	ニーノ・ロータ(音楽)、アンソニー・クイン、ジュリエッタ・マシーナ
3日(金)	どん底 (125分)	東 宝・1957年	黒沢明	三井弘次、三船敏郎、山田五十鈴、香川京子
4日(土)	お嬢さんお手やわらかに	フランス・1958年	ミシェル・ポワロン	アンドレ・リュガ、アラン・ドロン、ジャクリヌ・ササル

黒田清巳 (撮影監督)

1922年7月14日京都生まれ。日活・大映を経てフリーとなり「裸の島」から「竹山ひとり旅」までの新藤監督の全作品の撮影を担当。他に「不毛地帯」「忍ぶ川」等がある。1978年8月20日逝去。

Charles BOYER (俳優)

1899年8月28日フランスに生まれる。舞台から映画に転じて1920年M.レルビエ監督「海の人」に出演、34年渡米して二枚目役で活躍。1978年8月26日逝去。

Robert SHAW (俳優)

1927年8月9日イギリス生まれ。ロンドン及びブロードウェイの舞台に立ち、55年「暁の出撃」で映画デビュー。「007・危機一発」「スイング」等に出演の他、脚本家としても活躍。1978年8月27日逝去。

Leopold Torre Nilsson (監督)

1924年5月5日アルゼンチンのブエノスアイレス生まれ。54年父リオスと共同監督でデビュー、50年代後半から60年代にかけて南米で最も注目される監督となった。1978年9月8日逝去。

中平康 (監督)

1926年1月3日生まれ。東大の映研で萩昌弘、渡辺祐介らと知り、松竹から再開日活に移籍、「狂った果実」で華々しくデビュー。これは仏ヌーベル・ヴァーク派に衝撃を与え、多彩な分野の映画を多作。1978年9月11日没。

三木茂 (記録映画作家)

1905年11月15日高知に生まれる。溝口の「滝の白糸」などで撮影手腕を高くかわれ、「黒い太陽」で記録映画に転じて幾多の名作を発表。1978年9月14日没。

大蔵貢 (製作者)

1899年11月22日生まれ。弁士を経て映画館経営に従事、戦後は新東宝の再建に乗り出して手腕を示し、その後大蔵映画を主宰した。1978年9月15日逝去。

Otto Eduard HASSE (俳優)

1903年7月11日ドイツ生まれ。ラインハルトの下で演劇を学んだ後、米英仏の映画界にも進出、「大運河」「悪徳の栄え」「戒厳令」等の作品あり。1978年9月逝去。

Karl HURLT (監督)

1899年ウィーン生まれ。1930年「若きハイデルベルヒ」で監督に昇進、「囁きの木蔭」「F P 1号応答なし」等の作品がある。1978年10月逝去。

Nicolas HAYER (撮影監督)

1902年5月1日パリに生まれる。34年撮影監督となり以後「密告」「オルフェ」「巴里の空の下セーヌは流れる」「いぬ」などを担当。1978年10月31日逝去。

岩佐氏寿 (記録映画作家)

1911年12月2日京都生まれ。「どっこい生きてる」の脚本に参加の後、岩波映画、東映教育映画部を経て、63年日本技術映画社(現・鹿島映画)設立に貢献した。1978年11月22日逝去。

佐野周二 (俳優)

1912年11月21日東京生まれ。立教大卒業後会社員から松竹に入社、36年「青春突撃隊」でデビュー、佐分利信、上原謙と共に松竹の第一期「三羽鳥」として大いに活躍、その後も温厚な役柄で映画・TVに活躍した。1978年12月21日逝去。

Paul MEURISSE (俳優)

1912年12月21日生まれ。ミュージック・ホールで歌っている時ピアフに認められ、コクトーの舞台劇に出演の後映画界にデビュー。「草の上の昼食」「真実」の軍隊」等に出演。1979年1月19日逝去。

田宮二郎 (俳優)

1935年8月25日京都生まれ。学習院大在学中大映十期生に合格、56年度ミスター日本に選ばれる。翌57年「誓いてして」で本名の柴田吾郎でデビュー、後大毎オリオンの田宮選手にちなんで田宮二郎の芸名をつけ、黒シリ

ーズ<悪名シリーズ>で人気を博した。1978年12月28日逝去。

Jean RENOIR (監督)

1894年9月15日画家ルノワールの次男としてパリに生まれる。1924年「水の娘」で監督となり、34年「トニ」はネオレアリズモの先駆的作品と評され「大いなる幻影」「ゲームの規則」「河」など数々の秀作を発表、広い世界観と深遠な人生観のもとつづいたリアリズムは高く評価されている。1979年2月12日逝去。

植村謙二郎 (俳優)

1914年1月3日東京生まれ。日本俳優学校卒業後36年新興キネマ「街の姫君」でデビュー、ニヒルな二枚目として活躍し、戦後は洗った役として個性的悪役を得意とした。1979年4月3日逝去。

Nino ROTA (作曲家)

1911年12月3日ミラノ生まれ。49年「平和に生きる」の映画音楽でデビュー。特にフェリーニ作品の殆んどを手がけた他、「ゴッドファーザー」などの作品もある。1979年4月10日逝去。

三井弘次 (俳優)

1910年3月6日横浜生まれ。1925年「懐しの蒲田」で三井秀男の名でデビュー、小津の「非常線の女」「浮草物語」出演の後<与太者シリーズ>で蒲田の人気者となり、戦後は数々の名作で難い名優役りを發揮した。1979年4月20日逝去。

André Luguet (俳優)

1892年5月15日フランス生まれ。コメディ・フランセーズを経て映画界に入りサイレント期から活躍。上映作品ではササールの父を演じた。1979年5月24日逝去。

藤本真澄 (製作者)

1910年7月15日生まれ。故森若雄が導入した東宝プロデューサー・システムを実行・確立した功労者。戦後の<石坂文等も><社長シリーズ><若大将シリーズ>など東宝黄金期を確立した。1979年5月24日逝去。